

報道関係各位

株式会社東京ドーム

お化け屋敷プロデューサー五味弘文
恐怖の20周年
『お化け屋敷の人形倉庫』
開催のお知らせ

東京ドームシティ アトラクションズでは、2012年7月20日(金)～9月17日(月・祝)の期間、毎年恒例の夏期限定お化け屋敷を、『お化け屋敷の人形倉庫』と題して開催します。

この夏のお化け屋敷では、「後樂園ゆうえんち」時代の1992年からお化け屋敷の制作・演出を手がける、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏の20周年記念企画として、特別に公開するくお化け屋敷の裏側>へと足を踏み入れていただきます。

薄暗く、今にも何かが起こりそうな「お化け屋敷倉庫」の中、過去20年間のお化け屋敷で使われた数多くの人形の間を通り抜け、お客様は「ある約束」を果たすために、「人形の目」を倉庫に眠る「幽霊人形」に入れなければなりません。果たして無事に倉庫から戻ることができるのでしょうか・・・。

これまでの20年間で約500万人ものお客様を驚かせ、絶叫させてきた五味弘文氏が贈る最新の恐怖をお楽しみいただけるのが、『お化け屋敷の人形倉庫』です。

【開催概要】

◎タイトル:お化け屋敷プロデューサー五味弘文 恐怖の20周年
『お化け屋敷の人形倉庫』

◎開催期間:2012年7月20日(金)～9月17日(月・祝)[60日間]

◎開催時間:①開園～16:00/②17:00～閉園

※①と②で演出が一部異なります。

※混雑状況により受付終了時刻が変更になることがあります。

◎開催場所:東京ドームシティ アトラクションズ

◎料金:800円 ※開園～16:00はワンデーパスポート利用可

◎入場規定:6歳以上

◎テーマ:<お化け屋敷の裏側>

※ストーリー・設定については次ページをご覧ください。

◎企画・制作:(株)オフィスバーン

◎プロデュース:五味弘文氏

◎URL:<http://obakesoko.com>

東京ドームシティ アトラクションズ

所在地:文京区後楽1-3-61

営業時間:10:00～21:00

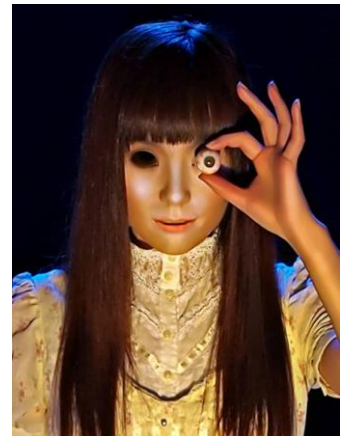
※7月21日(土)～31日(火)は10:00～22:00

8月1日(水)～31日(金)は9:30～22:00

料金:入園無料

ワンデーパスポート大人3,800円、シニア・中人3,300円、小人2,000円、幼児1,200円

アトラクション単券400円～1,000円 ※一部アトラクション休止中



【イメージビジュアル】



【五味弘文氏】

お客様からのお問い合わせ先:東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

【ストーリー】

この倉庫の中に、一体だけ使われていない幽霊人形が眠っています。
それは、今から20年前に作られた人形です。その幽霊人形には、目が入っていません。
その人形は、“井子(しょうこ)”という若い女性から型を取ったものでしたが、人形に目を入れる直前に、“井子”は亡くなってしまいました。それは、彼女の20歳の誕生日のことでした。

彼女が亡くなったとき、恋人はあることに気がつきました。
彼女の顔からほくろが消えている・・・。
不思議なことに、人形の顔にはほくろが浮かび上がっているのです。
これでは、まるで生き人形です。
そんな人形を使うのは忍びなく、人形はそのまま倉庫の奥にしまわれ、そのお化け屋敷のプランも、封印することになりました。
それでも、彼女の恋人は人形でもいいから彼女に会いたいと願い、約束を交わしました。
20年経って、人形が彼女の年齢に達したら、一度だけ目を入れてみよう・・・。

【設定】

絵画でも、人形でも、「目」を入れると生命が宿ると言われます。

あなたは入口で、「人形の目」を受け取ります。
あの約束通り、“井子”の人形にそれを入れてこなくてはなりません。

倉庫の中には、多くの幽霊人形が眠っています。
袋に入っているもの、箱にしまわれているもの・・・
それらを開けながら、あなたは彼女の人形を探さなくてはなりません。
ようやく彼女の人形を見つけ、^{がんか}眼窩に「目」を入れると・・・

【夏期特別演出】

毎年夏の特別企画として開催される東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷特別演出は、今年で20周年を迎えます。

近年では、赤ん坊を抱いて歩く『赤ん坊地獄』(1996年)、手錠に繋がれて体験する『恐怖の手錠地獄』(1998年)、本物の廃屋を移築してお化け屋敷にした『東京近郊A市 呪われた家』(2002年)、女の髪を梳かしながら進む『呪いの黒髪屋敷』(2006年)、靴を脱いで入らなければならない『足刈りの家』(2010年)など、趣向を凝らした演出で多くのファンを獲得してきました。

このような独創的な特別演出と共に話題となったのが、<お化け屋敷とインターネットの連動>です。お化け屋敷24時間ライブカメラ「ゴーストカム」(HPにて公開)は、全く新しいお化け屋敷の形として多くのアクセス数を記録しています。

【お化け屋敷プロデューサー】

東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を「後樂園ゆうえんち」時代の1992年から手がけてきたのが、お化け屋敷プロデューサーの五味弘文氏です。

2009年に出版した『人はなぜ恐怖するのか?』(メディアファクトリー)に続き、2012年6月10日には、東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷の歴史や恐怖演出の秘訣、独自の恐怖論などを著した『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』(角川 one テーマ21)を出版予定。

恐怖を思索し、お客様が喜ぶお化け屋敷とはどういうものなのかを考え続ける五味弘文氏が、20周年の節目となるこの夏『お化け屋敷の人形倉庫』で、最新の恐怖と楽しさをお届けします。